

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-121	Year Month Day Time 2017 年 5 月 6 日 15 : 15
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	能代工業
	104	54
	○	●
	(26 1st 19 29 2nd 4 35 3rd 15 14 4th 16 E P)	

主審:Referee
北沢あや子 宮城
副審:Umpire
小川裕之 秋田
水木順仁 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	村上 孝太		0	0	0	0	2	4	×	児玉 凜斗	CAP	12	2	3	0	1
5	×	塚本 舞生		8	2	1	0	1	5	×	児玉 海渡		8	0	4	0	3
6	×	相原アレクサンダー	学 CAP	12	0	5	2	1	6	×	新田 由直		10	0	4	2	2
7	✓	深田 一成		4	0	2	0	0	7	×	石田 淳		6	0	2	2	1
8	✓	八村 阿蓮		25	0	11	3	1	8	×	守屋 壮次郎		10	2	1	2	0
9	✓	蒔苗 勇人		4	0	2	0	0	9	✓	齋藤 創		1	0	0	1	1
10	×	田中 裕也		31	7	3	4	1	10	✓	牧野 湧		7	0	3	1	2
11	✓	木村 拓郎		0	0	0	0	2	11		佐藤 侃		-	-	-	-	0
12	×	本間 紗斗		13	3	1	2	3	12		高橋 日向		-	-	-	-	0
13	✓	吉川 空音		3	1	0	0	0	13	✓	伊東 翼		0	0	0	0	0
14	✓	バブシキ ダニエル		0	0	0	0	0	14	✓	秋元 淳之介		0	0	0	0	0
15	✓	菱倉 嵩人		2	0	1	0	1	15		粟屋 颯太		-	-	-	-	0
16	✓	井上 耀		2	0	1	0	0	16		阿久津 穰		-	-	-	-	0
17	✓	小川 祥英		0	0	0	0	0	17		遠田 貴大		-	-	-	-	0
18	✓	江刺 明青		0	0	0	0	0	18		須藤 陸		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		柴田 直宏						0
コーチ		高橋 陽介						0	コーチ		杉沢 政						0
合 計				104	13	27	11	12	合 計				54	4	17	8	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	31	29.81%	田中 裕也
2	25	24.04%	八村 阿蓮
3	13	12.50%	本間 紗斗

1	12	22.22%	児玉 凜斗
2	10	18.52%	新田 由直
2	10	18.52%	守屋 壮次郎

Score ranking[Game]

1	31	田中 裕也	明	成	2	25	八村 阿蓮	明	成	3	13	本間 紗斗	明	成
---	----	-------	---	---	---	----	-------	---	---	---	----	-------	---	---

1Q、明成ハーフコートマンツーマン、能代工フルコートプレスからの3-2ゾーンでスタート。開始直後、明成#12本間が3Pを決めると能代工#4児玉(凜)がすぐに入れ返す。明成は速いパス回しからゾーンを崩して3Pやリバウンドからのゴール下で得点を重ねる。対する能代工も1対1からのジャンプシュートやドライブで得点する。残り3分から互いにシュートを決めきれず点数が止まる時間帯となったが、明成がフリースローを9本全て決め、26-19の7点リードで1Qを終える。

2Q、明成は#10田中の3Pと#8八村のリバウンドからのゴール下でリードを広げる。能代工は残り7分で1回目のタイムアウトを取るが、ディフェンスを崩しきれずに難しい体勢でのシュートが多くなり、42-19とさらに得点差が開く。無得点のまま残り4分で2回目のタイムアウトを請求する。能代工は積極的にゴールを狙い#10牧野のゴール下と#5児玉(海)のドライブで得点するも、明成#10田中の4本の3Pなどで徐々に点差が離れ、55-23の明成32点リードで2Qを終える。

3Q、明成は前半と変わらず3Pとゴール下で得点するのに対し、能代工も#8守屋の3Pや#5児玉(海)のジャンプシュートなどで応戦する。明成はドライブやポストを起点としたバスからの正確なシュートで確実に得点に結びつけ、90-38で3Qを終える。

4Q、能代工はディフェンスのプレッシャーを強めて、ターンオーバーやリバウンドから速い展開を作ろうと試みる。速攻やフリースローを決めて得点を伸ばすが明成もジャンプシュートを確実に決めて流れを引き戻す。104-54で明成が勝利した。